

首都直下地震や南海トラフ地震等大規模災害の発生に備え、令和2年度に改定する「大規模災害発生時における関東ブロック災害廃棄物対策行動計画」の実効性を確保し、関東地域ブロックにおける広域的な災害廃棄物対策に係る連携体制の強化を図る。

大規模災害時における関東地域ブロックでの広域的な災害廃棄物対策に関する調査検討業務

No.	事業項目	対 象	概 要
1	関東地域ブロック協議会	全体	➤ 関東地域ブロックでの活動予定・実績の周知、情報提供 ➤ 年間2回
2	行動計画派遣者養成研修 @ 熊本県	全体	➤ 行動計画の要請に伴って派遣される自治体職員の災害対応力の向上を目的に、令和2年7月豪雨の被災自治体から初動対応時の体験聴取、稼働中の仮置場を視察する。 ➤ 10名程度の研修生を募り、①事前学習、②現地確認、③振り返り
3	災害対応力向上事業	3都県	➤ 3都県の市区町村等を対象に研修等を提供する。各都県1回 ➤ 対象都県の意向を踏まえ、勉強会、グループディスカッション、簡易な机上訓練等を行う。
4	都県担当者との意見交換会	10都県	➤ 都県担当者間で災害廃棄物処理に関する情報提供・共有を図るための意見交換会、年間1回
5	課題検討ワーキング	全体	➤ 災害廃棄物処理対応の課題検討、年間3回 ➤ 1回あたりのWGの構成員は、有識者、都県3～4名、市区町3名程度
6	調査・情報収集	—	➤ 過去の代表的な災害事例から仮置場の運用や必要面積の考え方を整理する。 ➤ 廃棄物処理法の特例規定の運用に関する調査(手続きと活用の事例について)
7	令和元年東日本台風等災害廃棄物対応に関する記録誌作成	栃木県 茨城県 (千葉県)	➤ 令和元年東日本台風等で被災した自治体へのヒアリング、アンケート調査 ➤ 令和2年度作成の令和元年房総半島台風を中心とした記録誌と併せて冊子化

令和3年度事業について ②

【災害廃棄物処理計画改定等支援】

図上演習により、自治体が策定した災害廃棄物処理計画の効果を検証し、発災時の実効性を担保するために更なる改善や充実を図る。

「振り返り」での検証を重視！

①参加自治体が実際の災害廃棄物処理計画を確認する。

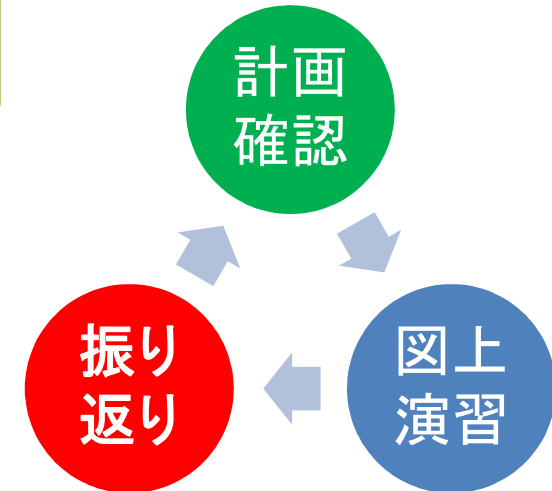


②課題応答型の図上演習を実施



③演習結果の振り返り

- ・ 現行計画で不足していたことは？ 何が問題？
- ・ どのように見直す？



関東地域ブロックにおける災害廃棄物処理計画効果検証等業務

No.	事業項目	対象都県	概要
1	災害廃棄物処理計画の検証・充実のための図上演習	3都県	➢ 処理計画策定と運用に関する基礎研修（各都県1回） ➢ 処理計画の検証・充実のための図上演習（各都県1回） ➢ 図上演習のフォローアップ（各都県1回）
2	災害廃棄物処理計画策定支援	東京都ほか	➢ 国、都県と連携・協働して10自治体の処理計画の策定を支援する。 ➢ 災害廃棄物処理計画のひな形の提供、添削、庁内意見調整の際の論点、庁内調整方法の指導を組み合わせた1年間のプログラムを提供する。 ➢ テキスト講習4回、机上演習2回、意見交換会（各自治体）1回、情報交換会1回
3	未策定自治体へのフォロー 【直轄事業】	希望都県	➢ 都県が主催する未策定自治体への災害廃棄物処理計画作成事業を支援する。 ➢ 関東地方環境事務所の専門官による研修プログラムを提供する。 ➢ テキスト講習4回、机上演習2回、意見交換会（各自治体）1回、情報交換会1回。